

第2回 薬剤耐性(AMR)対策普及啓発活動表彰

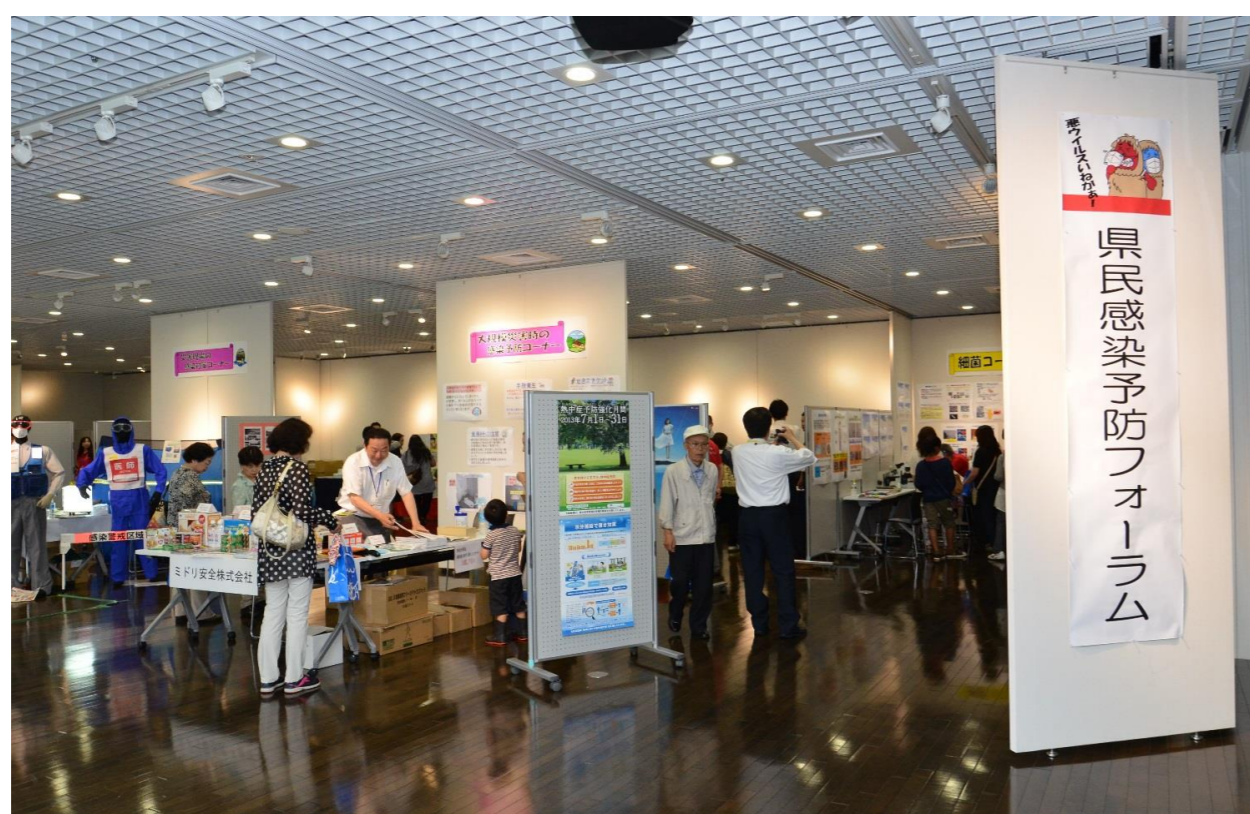
薬剤耐性対策推進 国民啓発会議議長賞

地域包括ケア時代の薬剤耐性対策基盤の 形成と35年間の活動

秋田県感染対策協議会

秋田県内の医療・介護分野を含む多職種連携によるAMR対策を実施。35年間にわたり活動を継続しており、秋田県内75%の病院に加え、介護施設等が参加する地域感染制御ネットワークを形成している。

医療・介護事業者への研修・実習の提供を行うだけでなく、市民に対しての教育・啓発活動などを実施。年に2回開催される研修会には毎回100～200名が参加する。50万件を超える大規模な細菌の耐性化データベースの構築も行ってきた。



一般市民への感染予防フォーラム



医療・介護事業者向け講習会

第2回 薬剤耐性(AMR)対策普及啓発活動表彰

文部科学大臣賞

都内表層水の薬剤耐性菌の調査と薬剤耐性菌 についての知識の普及活動

中央大学全学連携教育環境プログラム 西川ゼミの薬剤耐性菌に関する取り組み

大学のゼミにおいて、学生が主体となり、都内を中心とした20か所の主要河川や大きな公園の池の水を対象に、薬剤耐性菌の有無とその耐性薬剤の調査・研究を実施。その結果についての情報発信を、学会、学園祭、マスメディア等多様な場で行っている。

・対象地域 東京都内を中心とした全20か所



表2. 二剤以上に薬剤耐性を示す耐性菌

薬剤 1	薬剤 2	薬剤 3	薬剤 4	耐性株数
SAM20	CLR15			21
SAM20	CLR15	AN30		2
SAM20	CLR15	TE30		6
SAM20	CLR15	TE30	LVX5	1
SAM20	CLR15	TE30	IPM10	2
SAM20	CLR15	TE30	AN30	2
SAM20	IPM10			3
SAM20	TE30			1
SAM20	TE30	AN30		2
SAM20	AN30	LVX5		1
CLR15	AN30			1
合計				42

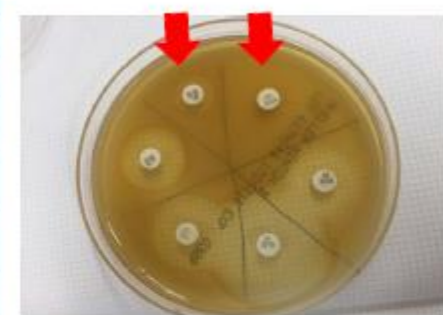


図1. 二剤に耐性を示した試験例

➤ 採取した全86株のうち、2つ以上の薬剤に耐性をもつものは42株あり、**全体の49%**に及ぶ。また3つ以上に耐性を持つ菌が16株(**8%**)、4つ以上では5株(**6%**)検出された

都内を中心に20か所で調査

2剤以上に薬剤耐性を示す
耐性菌

第2回
薬剤耐性(AMR)対策普及啓発活動表彰

厚生労働大臣賞

医療従事者の多職種協働をめざしたNPO法人による13年間のAMR対策の普及啓発活動とその成果

特定非営利活動法人 EBIC研究会

AMR対策の一環である抗菌薬適正使用に大きく資するグラム染色(染色した痰や尿などの検体を鏡顕し細菌の形状を確認する。安価で染色液と顕微鏡があればどこでもできる。)の実技講習を通じて普及啓発を行っている。また、薬剤耐性(AMR)対策アクションプランの取組項目のひとつである外部精度管理体制の構築支援を、アクションプランに先駆けて行っている。



全国から参加者が集まる
グラム染色実習の様子



顕微鏡実習の様子

第2回
薬剤耐性(AMR)対策普及啓発活動表彰

農林水産大臣賞

水産分野における抗菌剤の使用を必要最小限とする魚病対策とその普及啓発活動

大分県農林水産研究指導センター 水産研究部

魚類養殖が盛んな大分県において、抗菌剤の使用を最小限とする魚病対策とその普及啓発活動を30年以上に渡り実施。ワクチンによる魚病発生予防の徹底や薬剤感受性試験の実施等により、安全な水産物の安定的な供給に貢献している。

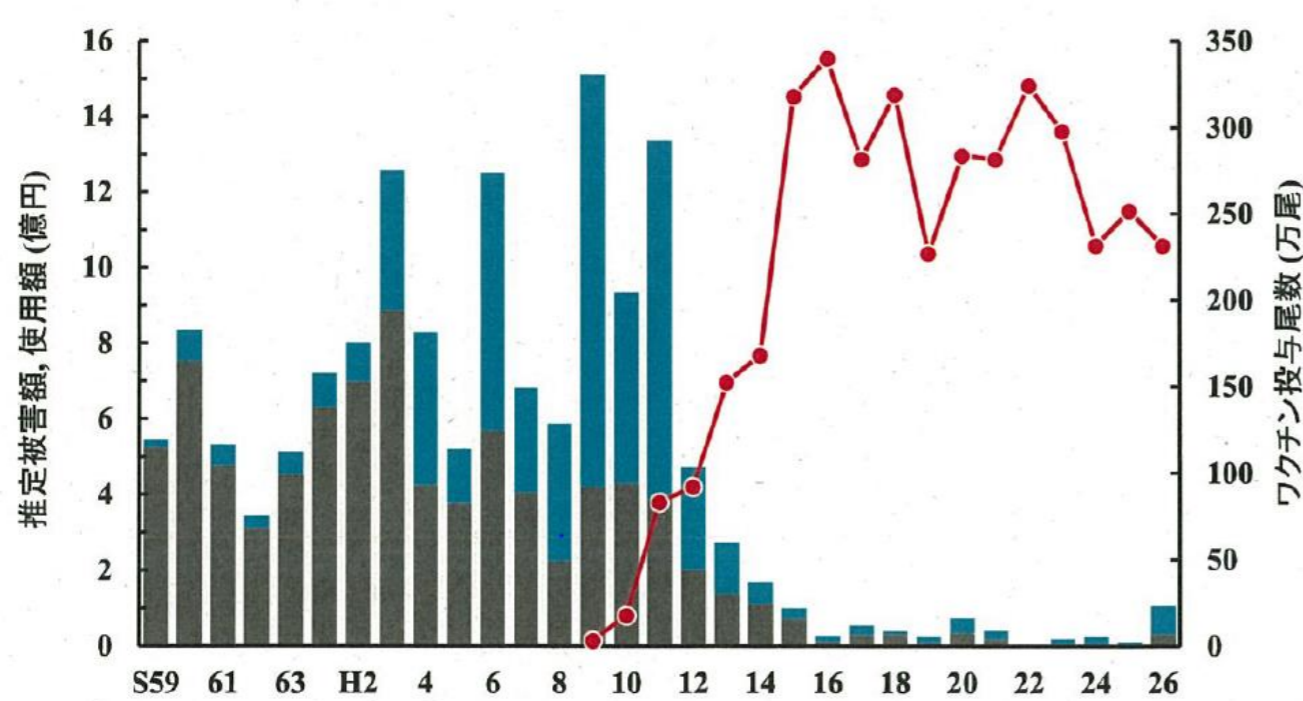


図1. 大分県のブリ類養殖におけるα溶血性レンサ球菌症被害額(■)とマクロライド系抗生物質使用額(■)の推計値およびレンサ球菌症関連ワクチン接種尾数(●-)の推移。



魚類用ワクチン注射器

ワクチン普及に努め、抗菌剤
使用量減少と生産効率向上

ブリ養殖現場におけるワクチン
接種作業の様子

第2回 薬剤耐性(AMR)対策普及啓発活動表彰

「薬剤耐性へらそう！」 応援大使賞 (JOYさん)

ママたちと一緒に学ぼう！未来の子どもたちのために
～つなひろ活動を通して～

つながる ひろがる 子どもの救急

看護師が中心となり、子育て世代の関心が高い“子どもの病気・救急”に関する既存の講座の中でAMRに関する普及啓発を実施。岡崎市とも連携し、看護師が保護者の元へ自ら出向くスタイルで定期的に行い、大手マスメディアにも取り上げられている。

講座のお知らせ
**保育園入園前に知っておきたい
子どもの病気とお家でのケア**

😊😊😊この春、保育園入園予定のお子様ママたちへ😊😊😊
保育園入園は子どもにとって初めてママたちと離れて過ごす生活。子どもはもちろん、ママたちだって多くの不安があることだと思います。保育園生活が始まる前に、今、身につけておくとうらかなあ、考えておく楽しい保育園生活につながるかなあって思うことを小児科看護師として、同じ母親としてお話できたらと思っています。ぜひ皆さんと楽しく情報交換しましょう！！

病院にかかるタイミングや
保育園をお休みする目安は？

抗生剤の耐性菌の問題、よく聞くけどどんなことに気をつける？

入園するにあたっての
基本の心構えとは？

よくある子どもの症状や
疾患について、
どんなものがあるかな？

保育園生活をスムーズに過ごすために今できることは何かなあ・・・？

病気やケガ、すぐ受診できないときにお家でできることは？

講座の案内(抗生剤の服用に関するテーマが記載)



保護者に対する講座の様子

第2回 薬剤耐性(AMR)対策普及啓発活動表彰

「薬剤耐性へらそう！」 応援大使賞（篠田麻里子さん）

2010年から実践する多職種連携を基盤とした
抗菌薬適正使用支援の推進と教育活動

神戸大学医学部附属病院抗菌薬適正 使用支援(Big Gun)プロジェクトチーム

「Big Gunプロジェクト」チームは、院内の多職種（医師、薬剤師、検査技師、看護師等）で構成され、抗菌薬適正使用を目的に入院患者から問題症例を抽出し、主治医にコンサルテーションを行う。またAMRアクションプランの目標達成の取組として、経口第3セフェム系抗菌薬の院内採用の廃止を大規模病院で初めて実施した。

Big Gun ミーティング

薬剤師が作成する一覧の例

患者ID	患者名	薬剤名	11/11	11/11	11/11	11/11	11/11	11/11	11/11
0001	A	キヌピン静注用(350mg)	0	0	0	0	0	0	0
0002	B	ロベシ点滴用(0.5g)	2	6	6	6	6	6	6
0003	C	フェニバクタム点滴用(0.25g)	2	2	6	2	6	6	6
0004	D	ロベシ点滴用(0.5g)	2	6	6	6	6	6	6
0005	E	ロベシ点滴用(0.5g)	6	2	2	2	6	2	2
0006	F	クセピット点滴静注(500mg)	1	1	1	1	1	1	1

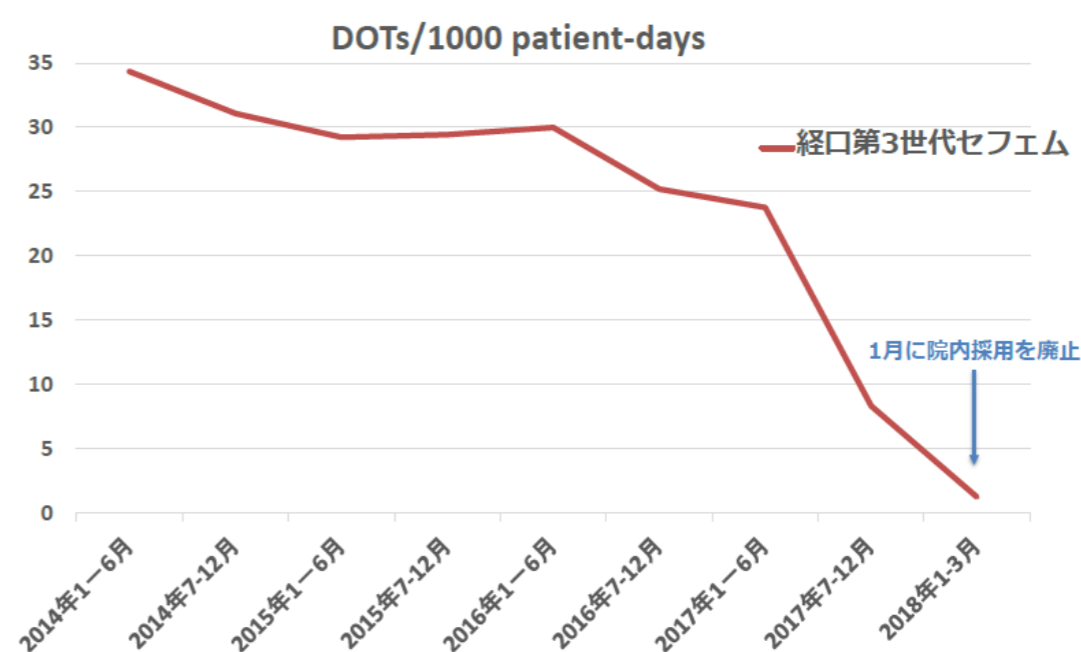
多角的な視点で検討

4 職種連携の取り組み



- ① 特定抗菌薬（抗MRSA薬、抗緑膿菌薬、抗真菌薬）を投与されている全患者を対象（週に一度）
- ② 病歴や抗菌薬投与歴、培養検査の提出歴等を記載した一覧を作成
- ③ 抗菌薬投与の妥当性等を客観的に評価
- ④ 問題のある症例や指導が必要な症例を抽出
- ⑤ 4職種が参加する翌日のミーティングで症例を検討し、必要に応じて主治医に結果を連絡する

経口第3セフェム系抗菌薬の使用量の推移 (入院患者)



Big Gun ミーティングの概要

経口第3セフェム系抗菌薬の 使用量の推移